



# 特別号

令和元年度第2号  
(令和元年6月25日発行)  
一般社団法人 熊本県警備業協会

## 令和元年度 定時総会を開催

6月10日午後4時から、ホテル熊本テルサにおいて、令和元年度(一社)熊本県警備業協会定時総会が開催され、(一社)警備員特別講習事業センター理事長表彰の伝達、警備業功労等による会長表彰、会長挨拶、来賓挨拶の後、平成30年度事業報告など3議案が審議され、いずれも満場一致で承認されました。

### 西会長 挨拶要旨



熊本県警察本部生活安全部長様をはじめご来賓の皆様には、大変お忙しい中、ご臨席を賜り、厚く御礼を申し上げますとともに、平素から多大なご指導とご支援を頂いておりますことに深く感謝申し上げます。又、会員各位には協会事業にご理解と御協力をいただき厚く感謝申し上げます。

ただ今表彰されました皆様には、心より感謝申し上げます。

本年5月1日に、平成から令和に元号が変わり、私たち国民は喜びとともに、新たな旅立ちに期待で胸が膨らんでいるところでございます。当協会も、昨年度、創立45周年・法人化30周年迎え、大きな飛躍を目指し、新たな船出をいたしましたところでございます。

さて、熊本地震の発生から3年が過ぎ、復旧・復興は確実に進んできてはおりますが、未だ道半ばであり、警備業が果たすべき役割、責任も大きなものがあります。更に、本年は、熊本県において、ラグビーワールドカップ等の大型スポーツイベントも控えており、警備業が県民の目に見える形で活躍することができる絶好のチャンスでもあります。

しかしながら、全国的に警備員不足が叫ばれている中、熊本県も例外ではなく、県民の期待に応え、生活安全産業としての責務を果たすためには、警備員不足問題を早急に解決する必要があります。当協会におきましては、昨年度、「人材確保対策特別委員会」を新たに立ち上げ、同委員会を中心に、各種対策を推し進めて参りました。

本年度、さらに人材確保対策を強力に推し進めるため、熊本市に人材確保育成助成金の申請を行い、交付が決定しましたことから、「ラジオCMの放送」「警備員募集パンフレットの作成」「求人広告掲載」「合同求人面談会の開催」を柱とした警備員人材確保総合対策事業を行うことと致しました。

また、警備業が「生活安全産業」として、県民の安全・安心を担う立場でもあることから、昨年度、熊本県警察と「安全・安心まちづくりの推進に関する協定」を締結し、この協定に基づき、犯罪捜査への協力、防犯・交通イベント等への参加など社会貢献活動にも力を入れて参りました。しかし、このような中、昨年度、県内で、警備員指導教育責任者講習の受講に関し、警備業務への従事期間が実際のものとは異なる経歴虚偽の警備業務従事証明書を作成して県公安委員会に提出したという法令違反が発生いたしました。今後、さらに同様の事案を含め法令違反が発生した場合、業界全体の信頼を取り戻すことは非常に困難な状況になることは言うまでもありません。我々警備業は、県民の信頼の上に成り立っている生活安全産業であり、一社、一個人の法令違反が、業界全体に大きな影響を及ぼすことを再認識し、法令を遵守していかねばなりません。

改めて、会員各位におかれましては、「地域社会の安全の確保」という責務達成に向け、法を遵守し、努力されますようお願い申し上げます。

当協会は、加盟企業のコンプライアンスの確立を図ると共に、魅力ある警備業を確立するため、これまで以上に努力を重ねていく考えでありますので、皆様のより一層の御理解と御協力をお願い致します。



## 林修一県警生活安全部長 挨拶要旨

まずもって皆様には、平素から警察行政の各般にわたり、深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げますとともに、犯罪のない安全安心な地域社会の実現に向け、警備業務を通じて、日夜たゆまぬ御努力をされておられますことに対し、深く敬意を表する次第であります。

また、先ほど優良警備員等の表彰を受賞された皆様には、心からお祝いとお慶びを申し上げます。

さて、県下の治安情勢につきましては、官民一体となった犯罪抑止に向けた総合対策を推進した結果、刑法犯認知件数は、平成16年以降、昨年まで15年連続で減少しているところであり、本年も5月末現在で2,740件と、前年同期に比べ35件、約1.3パーセントの減少で推移しており、治安は数値的には改善傾向にあります。

しかしながら、全国的には、つい先日、川崎市でスクールバスを待っていた児童らが殺傷される事件が発生しており、県内においても「社会的に弱い立場にある女性や子どもが被害者となる犯罪」や「高齢者を狙った振り込め詐欺の被害」が続発しているなど、県民の皆さんが良好な治安を体感するには至っていない現状でございます。

このような現下の厳しい治安情勢を踏まえ、県警では、県民の誰もが治安の回復を実感し、安全で安心して暮らせる社会の実現に向けて、各種対策を推進しているところですが、犯罪や事故の未然防止は、警察だけで実現できるものではなく、地域社会と連携協働していくことが不可欠であります。

特に、警備業におかれましては、「安全産業」の中核として、人の生命、身体、財産等を守ることを主な業務とされておりますが、その適切な警備業務によって、県民の自主的な防犯、防災活動が強化、充実されることは、地域社会の安全・安心を維持していくうえで極めて有用であります。

今後、県内における「ラグビーワールドカップ2019」「女子ハンドボール世界選手権」等の国際的な大規模イベントの開催控え、警備業に対する県民の期待と信頼は、ますます高まっていくものと思われまます。どうか、皆様には、引き続き、適正な警備業務の実施により、安全で安心な熊本県の実現に御尽力いただき、警備業界が更なる発展を遂げられることを期待いたしますとともに、警察業務への変わらぬ御支援、御協力をお願いいたします。

結びに、熊本県警備業協会の益々のご発展と、本日御列席の皆様方の御健勝と御多幸を祈念申し上げます、挨拶とさせていただきます。

## 総会ご来賓

熊本県警察本部生活安全部長 林修一様の他、

労働基準部監督課長

吉野勇希様

熊本県消防長会副会長 兼 有明広域行政事務組合消防本部消防長

吉田裕耕様

にもご臨席いただき、ご挨拶いただいております。



労働基準部監督課長 吉野勇希様



熊本県消防長会副会長 吉田裕耕様

## 猿渡秀樹氏が警備員特別講習事業センター理事長表彰を受賞



特別講習並びに警備業発展功勞により、当協会の特別講習講師を務めていただいている猿渡秀樹氏が、(一社)警備員特別講習事業センター理事長表彰を受賞され、定時総会の席上において、西会長から表彰状の伝達がなされました。

猿渡講師には、今後も、事前講習、特別講習で、優秀な警備員の育成に尽力していただくようお願い致します。受賞、おめでとうございます。

## 「警備業功勞」「人命救助功勞」「優良警備員」等で156名に会長表彰

定時総会の席上、西会長から、協会所属の156名の警備員等に、(一社)熊本県警備業協会会長表彰が授与されました。

(受賞者) ※ 敬称は略させていただきます。

警備業功勞～植野美奈子 協会運営協力功勞～別府圭太郎  
人命救助功勞～堀川孝幸他2名 火災消火功勞～山代紀之  
犯人検挙功勞～宮田照美他1名  
優良警備員～古田健二他23名  
永年勤続警備員～中元雅介他123名



受賞者の皆様

## 懇親会

定時総会后、林熊本県警生活安全部長を始め、県警本部の方々等をご来賓に招き、盛大な中にも和気あいあいとした懇親会が催されました。

西会長による開宴の辞、林秀典県警生活安全部理事官兼生活環境課長の挨拶の後、芹川英文副会長の乾杯の音頭で懇親会の幕が開かれました。



## 林秀典県警生活安全部理事官 挨拶要旨



皆様には、平素から警察行政の各般にわたり、格別の御理解と御協力をいただいていることに対し、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

本年は「令和」という新しい時代の幕が開け、全国的には「即位関連行事」や「G20 サミット」の開催、県内においては「ラグビーワールドカップ 2019」、「女子ハンドボール世界選手権」等世界的なイベントの開催が予定されております。

そのような中、警備業は、防犯・防災活動の基盤を形成する「生活安全産業」として、県民から大きな期待と信頼が寄せられています。

警備業法の制定以来、警備業は急速な発展を遂げ、社会に深く定着してまいりましたが、これは、本日お集まりの皆様をはじめとする業界の皆様が、法の趣旨を踏まえた適正な業務を推進してきたことの賜物であります。

引き続き、皆様一人一人が適正適法な業務推進を行うことにより、県民の期待と信頼に応え、社会に貢献する生活安全産業として、業界全体が健全な発展を遂げられることを期待いたしますとともに、安全・安心な熊本の実現に向けて警察業務への更なる御理解・御協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

終わりに、熊本県警備業協会の益々のご発展と、本日御列席の皆様方の御健勝と御多幸を祈念申し上げまして、挨拶とさせていただきます。



## ほんの少しアルコールが入った懇親会参加の皆様



### 編集後記

定時総会はお世話になりました。また、進行の下手際等もあり、皆様にはご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。

総会に際しては、社員の応援派遣を頂いた会員様など、多くの会員様に助けられ、無事、総会を終えることができました。

ありがとうございました。 西 橋